

白川村からの被災地支援活動

白川村では震災後、村の備蓄庫の食糧等や、村民の皆様から募集した救援物資、義援金を送るなどの支援活動を行っています。また、7月12日～15日まで、東北の被災地へ向け、村民や職員が被災地を訪れて、ボランティア活動を行いました。

8月号では、継続的にボランティア活動を行っているトヨタ白川郷自然学校（NPO法人白川郷自然共生フォーラム）の職員を代表して、岩田由美さんのレポートを掲載します。

東日本大震災被災地支援活動に参加して

NPO法人白川郷自然共生フォーラム 岩田 由美



唐桑半島の名所折石と朝日

NPO法人白川郷自然共生フォーラムでは6月1日～7月15日の期間、RQ市民災害緊急支援センターが運営するRQ唐桑ボランティアセンターで被災者への支援活動や、その拠点となるボランティアセンターの運営を行いました。

参加したのは理事とスタッフの総勢14名。RQ唐桑ボランティアセンターは宮城県気仙沼市にある唐桑半島の東側、国立公園に指定されている風光明媚な場所にあります。名所の巨釜（おおがま）にある海岸亭というドライブインをオーナーのご好意で貸していただき、唐桑半島を中心にした活動を行っています。

被災地でのボランティア活動

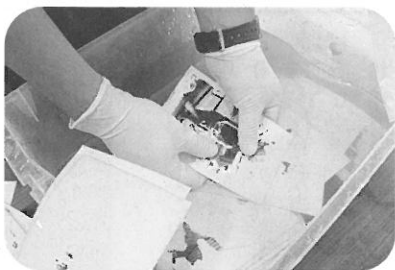
ボランティアセンターに寄せられる依頼は実に様々でした。津波で水をかぶった個人宅の清掃や庭に残る瓦礫の撤去、拾得写真のクリーニング作業、仮設住宅



瓦礫の片付け

でのバーベキュー大会の企画運営、唐桑半島で盛んに行われているワカメ・カキの養殖業者からの依頼などなど。時には、訪れるボランティアの特技を活かし、避難所を回りマッサージを行うことも。

また、週に1度、唐桑半島一帯で活動するボランティア団体が複数集まり情報交換を行います。この集まりは唐桑団と呼ばれ、「今どんな支援が必要なのか」を話し合い、唐桑半島全体で



拾得写真のクリーニング

「点」の支援から「面」の支援へとつなげる取り組みも行われています。

唐桑半島の重要な産業であるカキ養殖では、通常、春先に行うカキの種付け



仮設住宅でのバーベキュー

作業が、震災で大幅に遅れているとのことでした。早くしないと稚貝が弱ってしまう。カキ養殖復興のためにも、ここはボランティアの出番ということで、半島一帯の養殖業者を支援しようと唐桑団オイスター部会が結成されました。RQ唐桑ボランティアセンターでもカキの種付け作業を継続して支援を行っています。

支援活動に参加してみると、津波の報道はテレビで毎日のように見えていましたが、テレビで見ると



カキの種付け作業

現地で見たり聞いたりするのは全く違いました。現地に行ってみないとわからない事がたくさんある、ということを感じました。

復旧から復興へ

震災1ヶ月後の4月下旬、RQが主催するボランティアコーディネーター研修会が宮城県登米市で開かれ、初めて被災地を訪れました。初めて見た被災地は瓦礫が山のように散在し、非日常の風景が広がっていました。それから2ヶ月後、再び被災地を訪れてみると瓦礫の山が整理されて随分きれいになったなあ、という印象です。ボランティアセンターを間借りしているオーナーからお話を伺うと「復旧作業は随分進んだけど、復興はまだまだこれから。震災前みたいに観光のお客さんが戻ってくるには、5年いや7年はかかるかなあ」と話しておられました。

ある日、気仙沼市街のガソリンスタンドに立ち寄った時のこと。車の他県ナンバーを見て、ガソリンスタンドの方が「ボランティアの方ですか？ありがとうございます。本当だったらねえ、美味しい物たくさん食べてもらえたんだけどね…。これから私達も頑張りますので数年後に元通りになったら、また気仙沼に今度は遊びに来て下さい。気仙沼にはきれいな景色と美味しい物がたくさんありますから」とおっしゃられました。この言葉を聞き、こちらが元気をもらいました。そして数年後、再び、気仙沼を訪れて復興した姿をこの目で見たいと心から思っています。これからも被災地の復興を見続けていきたいと思っています。

あなたの情報をお待ちしています。

☎ 011311 内線1260



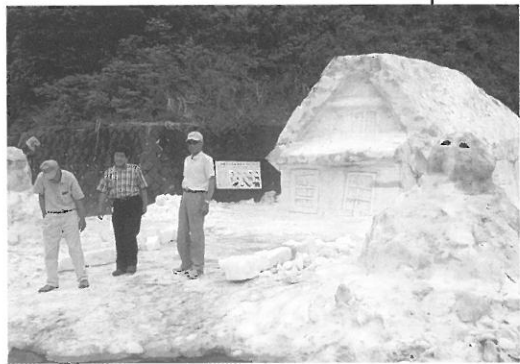
雪の合掌造り登場

7月1日(金)白山スーパー林道の三方岩駐車場で、恒例の「雪おくり祭り」が行われました。

白川村と石川県白山市の観光関係者らでつくる白山林道振興協議会が主催し、今年で17回目。会場には、除雪時に集めた雪で作られた合掌造りの雪像や雪だるまが展示され、

観光客らは季節外れの雪に驚きながら、涼を楽しんでいました。

また、祭りの前には「白山スーパー林道加賀・飛騨マラソン」が実施され、石川県側の国見山駐車場から岐阜県側の三方岩駐車場までの5.6kmのコースを、約30名のランナーが爽やかに走りました。



棟茅を新調

6月29日(水)白川郷観光協会荻町案内所の屋根の棟茅をふき替える「棟包み」作業が行われ、同協会役員ら10名が汗を流しました。

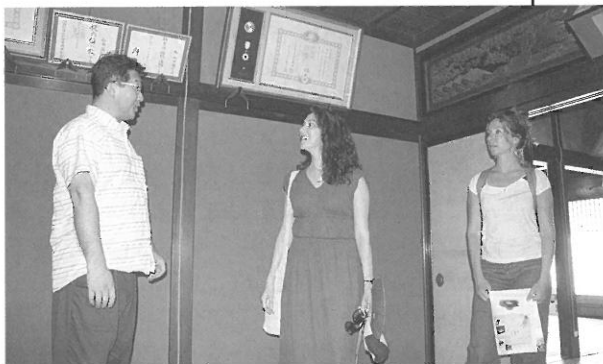
合掌屋根が重なる先端部は、雨風や雪で傷みややすく、棟包みは毎年行われていました。以前は業者に依頼していましたが、若い職員にも技術を伝えようと、3年前から同協会で作業を行っています。

ルース米大使ら、白川訪問

7月10日(日)ジョン・ルース駐日米国大使が、家族らとともに白川村を訪れました。

ルース大使らは、成原村長の案内を受け、合掌集落内を散策。震災後、外国人観光客が減っている日本の観光地の安全性をアピールする目的で、同日高山市も訪問しました。

7月11日(月)はフランスの国際ジャーナリストのドラ・トーザンさんも訪れ、国指定重要文化財の和田家などを取材しました。



高齢者に手作り弁当お届け

7月13日(水)白川村社会福祉協議会が、ひとり暮らしの高齢者23名に手作り弁当を配達しました。

お弁当は白川村飛まわり会(食生活改善連絡協議会)のメンバーが中心となって作り、この日のメニューはうなぎのちらし寿司など、全7品。

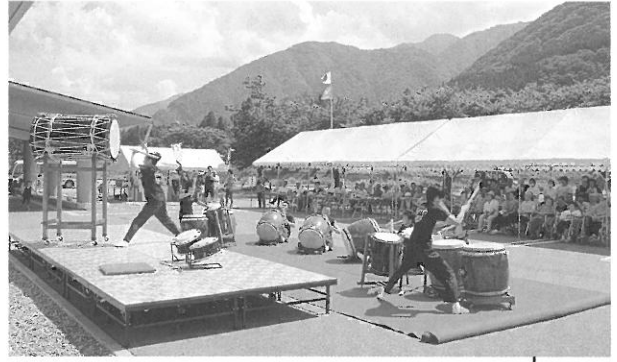
ひとり暮らし高齢者への手作り弁当配布は年4回行われ、栄養バランスが良く、季節感も味わえるメニューがとても喜ばれています。



さくら山荘3周年

7月10日(日)高齢者福祉施設瀬音さくら山荘の開所3周年を祝う、さくら祭りが開催されました。

祭りでは、保育園児と小学生児童によるヒップホップダンスや、しらみず太鼓保存会による太鼓などが披露され、3周年に花を添えました。また、さくら祭り開催前には、小坂建設(株)の社員が施設前の花壇ブロックを修繕するなど、奉仕活動を行いました。



明確な将来の夢を持つ

7月11日(月)白川中学校で第2回キャリア学習会があり、全校生徒65名が高山中央ロータリークラブのメンバーから、働くことの喜びや夢を持つことの大切さを学びました。

最初に第一物産(高山市)の島良明さんが全体講演を行い、「志を大きく持つて願い続けられ、願いはかなう。夢や希望を口に出して」と語りました。次に、生徒たちを10



グループに分けて分科会を行い、不動産業や税理士など様々な職種の19名を講師に、現在抱える不安や将来の夢について語り合いました。講師らは「明確な目標があると、そのために今何をすべきかがわかる」とアドバイスし、生徒たちは「色々な職種の方の話がきけて、参考になった」「夢を持つ大切さがわかった。早く目標を見つけたい」と感想を話しました。

親子で自然満喫

7月24日(日)馬狩地内で、白川小学校PTA主催の親子行事があり、1年生児童と家族、先生ら59名がイワナつかみを楽しみました。

網で仕切った川にイワナ65匹を放流すると、子供たちは一斉に川の中へ入り、歓声を上げながら追いかけました。また、水をかけあつたり寝転んだりして、自然の川と親しみました。

つかまえたイワナは串に刺して、炭火で塩焼きに。その他、バーベキューやスイカ割りなども行い、親子で楽しい思い出を作りました。



飛騨牛の安全性をPR

7月28日(木)飛騨肉牛生産協議会の辻直司会長らが役場を訪れました。

放射性セシウムに汚染された稲わらが、飛騨牛育成農家で餌として与えられていた問題や、牛肉の生食問題で、飛騨牛の消費が落ち込んでおり、風評被害と消費者の不安を解消するため、飛騨牛がプリントされたうちわを作成し、千枚を村に寄贈しました。



らせ

納期を守って明るい村づくり！

8月は「電気使用安全月間」

電気設備の安全点検をして電気は正しく安全に使いましょう

こんなことしていませんか？

〈電気のご相談は〉
 (財)中部電気保安協会
 高山事業所
 ☎0577-33-4645



水道料(5~7月超過分)

下水道料(5~7月超過分)

村民県税(第2期分)

国保料/保育料(8月分)

介護・後期高齢者保険料(普徴8月分)

納期限は8月25日(木)です

子宮頸がん・乳がん検診の実施について

下記の日程で、子宮頸がん・乳がんの検診を行います。

- ◎日時・場所 平成23年9月8日(木) 時間：午後1時～午後2時 受付 場所：白川診療所
- ◎対象者 子宮頸がん検診 20歳以上の女性
 乳がん検診 30歳以上の女性

◎料 金

	69歳以下	70歳以上
子宮がん検診	1,000円(20歳以上)	300円
乳がん検診	1,000円(30歳以上)	300円



子宮頸がん・乳がんとは

子宮頸がんとは、ヒトパピローマウイルスの感染が主な原因であり、20～30代女性に急増しています。発見にはがん検診を受けることが最も有効とされています。

乳がんは乳腺のがんで、40代後半に最も発生率が高く、女性がかかるがんの中で一番多いと言われています。マンモグラフィー(乳腺専用のレントゲン)を使った検査を2年に1度受けることが勧められています。

がん検診推進事業による検診無料クーポン券・検診手帳について

平成21年度から、特定の年齢に達した女性に対して、女性特有のがん検診の「がん検診無料クーポン」

と、がんについてわかりやすく解説した「検診手帳」を配布し、がんについての正しい理解と、がん検診を受診する方を増やすこと、女性の健康全体を高めしていくことを目的に行っています。

対象の方には、6月に手帳とクーポン券をお送りしています。クーポン券を利用して無料で受けていただけますので、多くの方の受診をお待ちしています。年齢によって、無料の対象となるがん検診が異なりますので、ご注意ください。

※クーポン券を紛失された方は、下記までご連絡ください。

●問い合わせ先
 村民課 保健衛生係 TEL 6-1311

- 7月の役場日誌から
- 1 白山スーパー林道加賀・飛騨マラソン、雪おくり祭り
 - 4 定例課長会議
 - 5 農業委員一般選挙告示日、ドクターヘリ訓練、兵庫県議会行政視察、青少年育成推進員会
 - 7 白山山岳遭難対策協議会総会
 - 8 観光プロモーション用映像作成プロジェクト説明会、子ども会育成委員会、まるごと体験宿総会
 - 11 住民健診(12日)、花苗配布、農業委員会一般選挙選挙会、農業委員会委員の当選証書付与式
 - 12 農業委員会、滋賀県老人クラブ視察、区長宛文書発送
 - 13 第1回地域振興定住対策補助金審査会、公民館運営委員会
 - 14 住民健診(15日)
 - 15 議会懇談会、高山市白川村公平委員会
 - 19 高齢者運動会
 - 21 入札、団・防火激励会
 - 22 例月出納検査
 - 25 明生長寿連合会ゲートボール大会、白川郷まるごと体験協議会定例会
 - 26 社明運動研修会、就学指導委員会
 - 27 議員政策懇談会、農業委員会、体育指導委員会
 - 29 国保運営協議会